

厚生労働省【28年度データヘルス計画の推進事業で実証中】

課題：特定保健指導の積極的レベルの対象者が『禁煙に成功』することで、動機付けレベルに下る対象者が105名(28%)いる

目的：特定保健指導の『階層化レベルを下げる』

内容：『遠隔禁煙外来の実証事業』を行う

期間：1～3月、対象者：東京地区18名

【効果：アウトカム】

1. 家族の精神的・経済的負担の軽減

介護や寝た切り防止

2. 喫煙者の減少
目標 20%

(2020年までの3年間)

200名減少(1,043名×0.2)

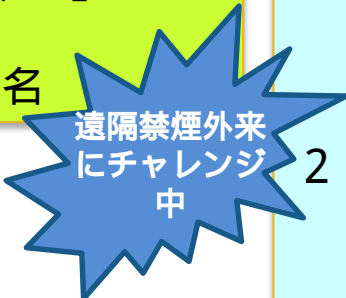
3. コスト改善 88百万円
(-)

前提：一人年間50万円の損失
1回喫煙10分、1日5回、時給2,100円

労働生産性の改善 100百万円
(200名×)

遠隔禁煙外来治療費 12百万円

- ・完遂率90%
- ・遠隔禁煙外来治療費 @54,000
(200名÷0.9×@54,000)



【部門長が行う禁煙宣言の価値】

1. 本人と家族の幸せ

生活習慣病の重症化・合併症の予防

2. 健康づくりの見本

意識改革・行動変容

3. 生産性向上に寄与

喫煙タイムの無駄の削除

会社のため社員・家族のため

6月組合会

部門長が禁煙宣言

『完全』遠隔禁煙外来で 全国展開の実現が可能に